

2019年度 自動車・自動車部品WG 活動報告

『模倣自動車部品の販売・流通削減と
自動車産業に係る知財情報収集』



中国IPG 自動車・自動車部品WG

1. WGの概要

(1) 目的

- ・お客様の安全に影響を与える可能性がある模倣自動車部品の流通・販売を減らす取り組みを共同で行う
- ・自動車産業に関する知財動向情報等を収集、対応・活用方法を検討する

(2) 概要

- ・自動車メーカー・自動車部品メーカー等、8社1団体が参加

AGC

DENSO

HONDA

KYB

MAZDA

NISSAN

TOYOTA

 **NIPPON STEEL**

JAMA

2. 活動テーマ

【テーマ設定の考え方】

- **模倣部品の流通・販売を減らす取り組み**を共同で行う (No.1-3)
- 自動車産業に係る**知識産権連盟・専利快速保護センター**設立の動きがあるため、その実態・動向を調査し、**日系自動車関連企業としての対応・活用方法を検討**する (No.4-5)

【活動テーマ一覧】

No.	テーマ名	新規/継続	担当
1	モーターショーでの消費者啓発活動	継続	KYB、デンソー、 日本製鉄、日産
2	共同啓発活動 (対当局、対消費者 (モーターショー以外))	継続	マツダ、AGC
3	VDA*との連携した模倣対応活動 (当局訪問、摘発押収品の 廃棄、オフライン/オンラインでの実態調査等)	継続	トヨタ、デンソー、 日本製鉄、日産
4	中国自動車産業知識産権連盟の実態調査	継続	日産
5	重慶市専利快速保護センター (自動車産業用) の実態調査	継続	ホンダ

*: ドイツ自動車工業会 (Verband der Automobilindustrie)

3. 2019年度実施事項/活動成果

No.	テーマ名	2019年度の実施事項/活動成果
1	モーターショーでの消費者啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・JAMA・JAPIA・欧米自動車会社の協賛で、広州MSへ真正品と模倣品の比較展示 ・危険性紹介、4S店・WEB店舗の啓発、WG微博紹介、政府部門・メディアへの周知、広東FM放送 等
2	共同啓発活動 (対当局、対消費者 (モーターショー以外))	<ul style="list-style-type: none"> ・JETRO公式アカウントによるWeibo情報発信開始 (活動紹介、広州MS連携発信 等) ・閲覧数最大で2324件/日、フォロワー52人 (2020年2月末時点)
3	VDAとの連携した模倣対応活動	<ul style="list-style-type: none"> ・VDAとの意見交換(各社摘発データ収集と分析等) ・河北省清河市MSA訪問、後に摘発増加傾向
4	中国自動車産業知識産権連盟の実態調査	<ul style="list-style-type: none"> ・公開情報等を利用してウォッチングを継続実施 ・特に目立った動きは発見できず
5	重慶市専利快速保護センター (自動車産業用) の実態調査	<ul style="list-style-type: none"> ・機能強化新機構の設立進捗を確認し、訪問実施し現時点の業務内容等を把握 ・機能強化の新機構は企画中、2020年に運用実施

3-1. モーターショーでの消費者啓発活動

【課題】

- ・模倣品に対する消費者意識向上には、継続的な活動が必要
- ・展示内容への興味増大、多くの消費者へメッセージ発信、ネット購入先周知

【実施事項】

JAMA・JAPIA・欧米自動車会社の協賛による真正品と模倣品を比較展示
MS開催期間：2019年11月22日～12月1日（MS来場者数 約76万人）

【成果】

模倣品危険性紹介、純正品品質・保証アピール、
4S店利用・WEB店舗の啓発、WG微博の紹介と活動内容周知
知財関連政府部門・報道関係者へ周知と協力依頼、広東FM放送局コラボ継続、
目を引く展示・クイズラリーによる集客増大、アンケートによる消費者動向把握

【2020年度活動計画】

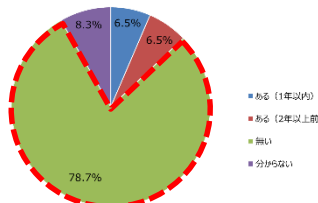
数少ない直接の消費者への啓発機会であり活動を継続する。
⇒19年度反省点を改善の上、広州MSでのブース展示&アンケートを実施し、
消費者動向の変化を継続的に把握する。

3-1. モーターショーでの消費者啓発活動

アンケート分析結果（抜粋）

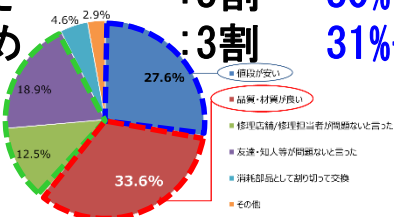
★模倣品の購入経験

購入経験無し：増加傾向だが今年減
 78% → 83% → 79%



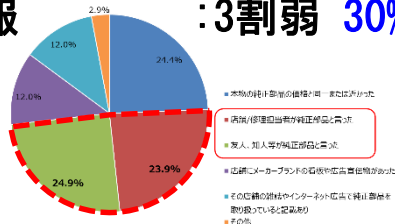
★模倣品と知りつつ購入理由

品質・材質の良さ : 3割強 32% → 34%
 値段の安さ : 3割 30% → 28%
 他人の勧め : 3割 31% → 31%



★模倣品と知らずに購入理由

店舗・店員情報 : 5割 45% → 49%
 純正品と同価格 : 2割強 21% → 24%
 友人情報 : 3割弱 30% → 25%



★消費者・当局へ
 貴重なアピールの場
 ★関連団体一致団結

**MS 出展
 活動継続**

★模倣品の購入経験
 無しが増加傾向

**消費者啓発
 活動継続**

★純正品購入方法の
 周知必要

**店舗QR
 コード周知**

★多くの消費者に対し
 啓発活動

**広東FM・
 SNS連携**

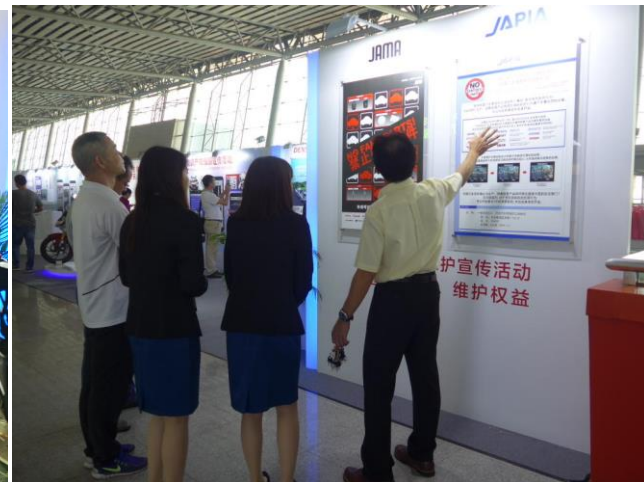
★展示内容への興味を
 湧かせる活動

**クイズラリー
 + α 検討**

3-1. モーターショーでの消費者啓発活動



多くの消費者にメッセージ
広東FM放送局・SNSとの連携



当局へのアピール
当局招待、3局6人来展



消費者動向調査(アンケート実施)
過去最高の2,277名から聴取



展示内容への興味増大
アンケート推移紹介、クイズラリー実施

3-2. 共同啓発活動(対当局・対消費者(モーターショー以外))

【課題】

- 模倣品の問題や危険性を、当局や一般消費者に広く理解して頂く事で、お客様の安全安心と、我々のビジネスを守る。
- SNS（微博）を利用し、我々の活動、模倣品の問題と危険性、対策等の情報を定期的に発信、当局や一般消費者の模倣品に対する理解を深める。

【実施事項】

- SNSの発信コンテンツの準備、運用代理店の契約と委託開始。
- JETRO公式アカウントの取得、活動紹介、広州MS連携発信を実施。

【成果】

- 微博SNS発信プラットフォームをスタートし、一定数の閲覧を得た。
- 閲覧数最大で2324件/日、フォロワー最大で52人。

【2020年度活動計画】

- SNS発信の継続、閲覧数、フォロワー等の拡大施策の推進。



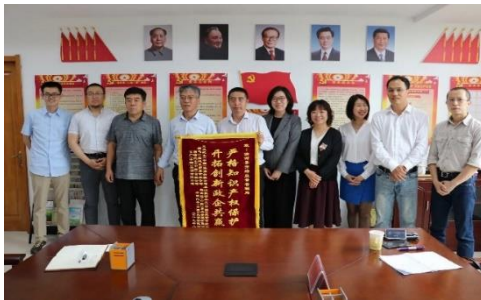
3-3. VDAとの連携した模倣対応活動

【目的】

- VDAメンバーとIPGメンバーのノウハウを共有する。
- VDAと連携し、相乗効果をもたらす共同活動を実施する。

【実施事項】

- VDAとの意見交換を1回実施(各社摘発データ収集と分析等)
- 河北省清河市MSA訪問 (19年8月20日)



【成果】

- 2018年度模倣部品の摘発件数や地域のデータ共有
- 清河市MSAと良好な協力関係を作り、摘発案件数が増加

【2020年度活動計画】

- 2019年度各社摘発データ収集と分析、活用検討
- 重点地域の当局訪問

3-4. 中国自動車産業知識産権連盟の実態調査

【課題】

- 北京福田が中心になって中国自動車産業知識産権連盟が発足。パテントプール等の動きがあった場合、日本企業にとって脅威となる可能性があるため、その実態・動向を調査する必要がある。

【実施事項】

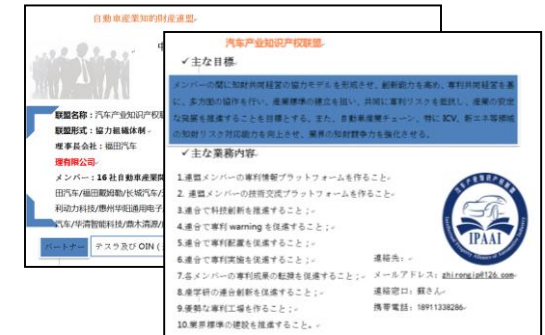
- 公開情報等を利用して継続ウォッチング

【成果】

- 今年度も目立った動き無し

【2020年度活動計画】

- 継続して動向調査必要か今後検討



3-5. 重慶市專利快速保護センターの実態調査

【目的】

- 快速保護センターの設立実態、組織体制、業務内容等を把握する。
- 快速保護センターと連携し、セミナー・啓蒙活動等を図る。
- 共同連携によって、新たな権利紛争解決ルートを構築する。

【実施事項】

- 機能強化新機構の設立進捗を確認し、訪問実施

【成果】

- 2019年09月05日 訪問実施、現状把握

- 業務内容： 重慶市全域における**2・4R企業の意匠権**に関する**出願支援、権利確定、権利保護**
- 業務進捗： まだ出願支援を主とする段階
- 連携可能： 法執行機関ではないが、紛争調停や、証拠提示等へのサポートは可能、共同活動歓迎
- 情報共有： **機能強化**の新機構はまだ企画中で、2020年に運用実施可能

組織体制

重慶市両江新区科技創新局



両江新区知識産権服務中心

(重慶市汽車摩托車知識産権快速維權中心)

・專利管理科：知財サービス、快速権利保護

・総合科：管理、人事、財務

合計20人程度

【2020年度活動計画】

- 連携活動や、実績創出による既存機構機能への検証を進める
- 新機構情報の継続的収集、連携可能性と運営方法を探究する

No.	テーマ名	2020年度実施計画
1	モーターショーでの消費者啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・数少ない直接の消費者への啓発であり活動継続 ・19年度反省点を改善の上、消費者動向の変化を継続的に把握
2	共同啓発活動 (対当局、対消費者(モーターショー以外))	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS発信の継続、閲覧数、フォロワー等の拡大施策の推進
3	VDAとの連携した模倣対応活動	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度各社摘発データ収集と分析、活用検討 ・重点地域の当局訪問
4	中国自動車産業知識産権連盟の実態調査	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して動向調査必要か今後検討
5	重慶市専利快速保護センター(自動車産業用)の実態調査	<ul style="list-style-type: none"> ・連携活動等を通じて、既存機能への検証を進める ・新機構情報の継続的収集、連携可能性と運営方法を探究する